

蒲郡市食育アンケート調査報告書

令和4年10月

目次

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象者等	1
3 回収状況	1
4 調査結果の表示方法	1
II 調査結果	2
あなたご自身について	2
「食育」について	5
「食生活」について	9
「地産地消・食文化」について	18
「食」について	24
「安全・環境」について	26
自由意見	30

I 調査概要

1 調査の目的

本アンケート調査は、蒲郡市在住の住民の方に対して、食育に対する意識や関心、日ごろの生活等について意見を伺い、計画策定の基礎資料を得るため実施した。

2 調査対象者等

	調査概要
(1) 調査対象	蒲郡市に居住する20歳以上の市民
(2) 標本数	1,400人
(3) 抽出方法	住民基本台帳より20歳以上の方から無作為抽出
(4) 実施方法	配布：郵便による調査票配布 回収：郵送、Web回答
(5) 調査期間	令和4年8月5日（金）～9月2日（金）

3 回収状況

	配布数	有効回収数	回収率
一般	1,400件	664件	47.4%

4 調査結果の表示方法

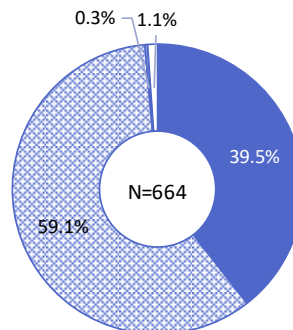
- ・ 回答は各質問の回答者数（n）を基準とした百分率（%）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・ グラフの値が0%の時、表示を省略している場合がある。
- ・ 本報告書中の表、グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。

Ⅱ 調査結果

あなたご自身について

①性別

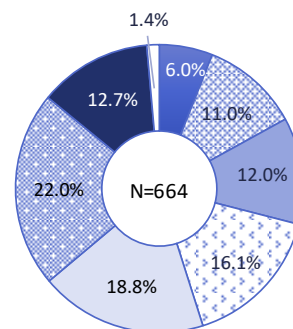
回答した方の性別は、男性39.5%、女性59.1%となっています。



■ 男性 ■ 女性 ■ 回答しない □ 無回答

②年齢

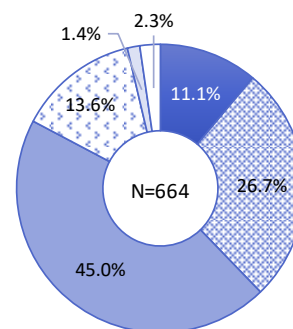
回答した方の年齢は、「70歳代」が22.0%で最も高く、次いで「60歳代」(18.8%)、「50歳代」(16.1%)となっています。



■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代
■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代
■ 80歳以上 □ 無回答

③世帯構成

回答した方の世帯構成は、「二世帯世帯（親と子）」が45.0%で最も高く、次いで「夫婦のみ」(26.7%)、「三世帯以上世帯（親と子と孫）」(13.6%)となっています。

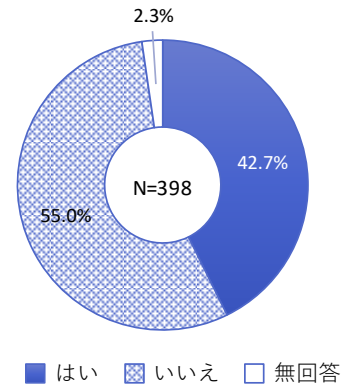


■ 単身（ひとり暮らし）
■ 夫婦のみ（事実婚も含む）
■ 二世帯世帯（親と子）
■ 三世帯以上世帯（親と子と孫）
■ その他世帯
□ 無回答

③世帯構成で「3」「4」「5」を選んだ人に

③-1 18歳未満の家族と同居の有無

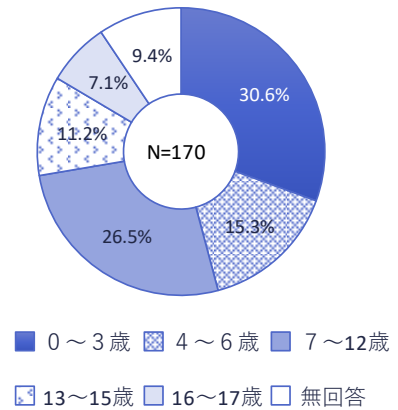
18歳未満の同居している家族（子ども、孫など）の有無については、「はい」が42.7%、「いいえ」が55.0%となっています。



③-1で「1」を選んだ人に

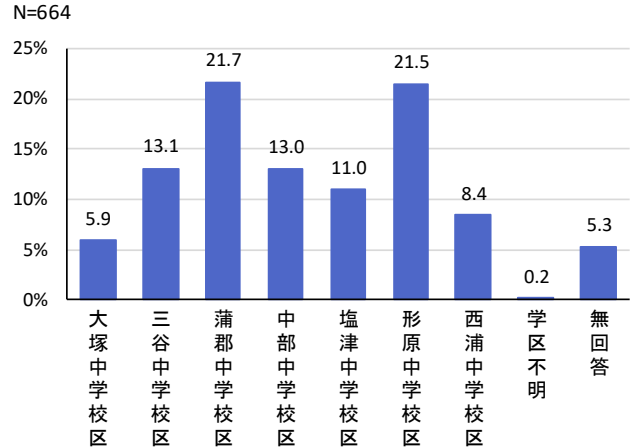
③-2 一緒に住んでいる家族の一番下の子の年齢

一緒に住んでいる家族の一番下の子の年齢については、「0～3歳」が30.6%で最も高く、次いで「7～12歳」(26.5%)、「4～6歳」(15.3%)となっています。



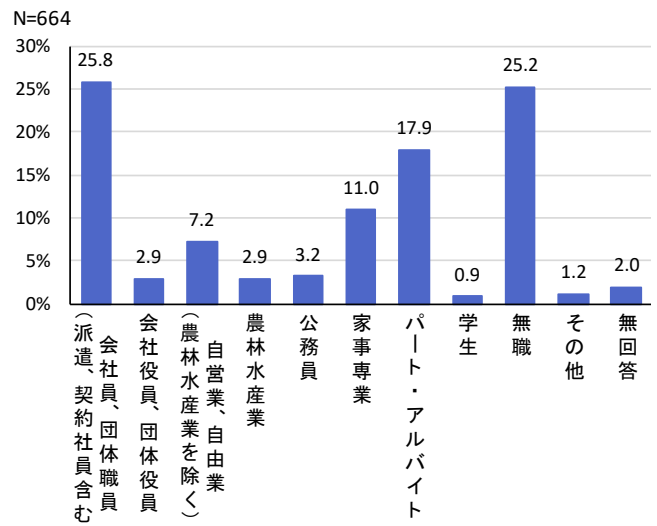
④お住まいの地域

居住地域は、「蒲郡中学校区」が21.7%で最も高く、次いで「形原中学校区」(21.5%)、「三谷中学校区」(13.1%)、「中部中学校区」(13.0%)となっています。



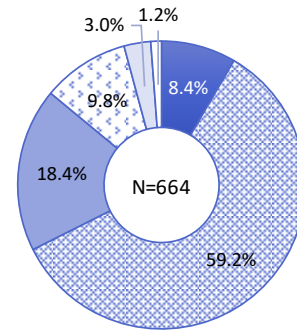
⑤職業

回答した方の職業は、「会社員、団体職員（派遣、契約社員含む）」が25.8%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」(17.9%)、「家事専業」(11.0%)となっています。また、「無職」は25.2%となっています。



⑥あなたは自分の健康状態について、どのように感じていますか。(○は1つ)

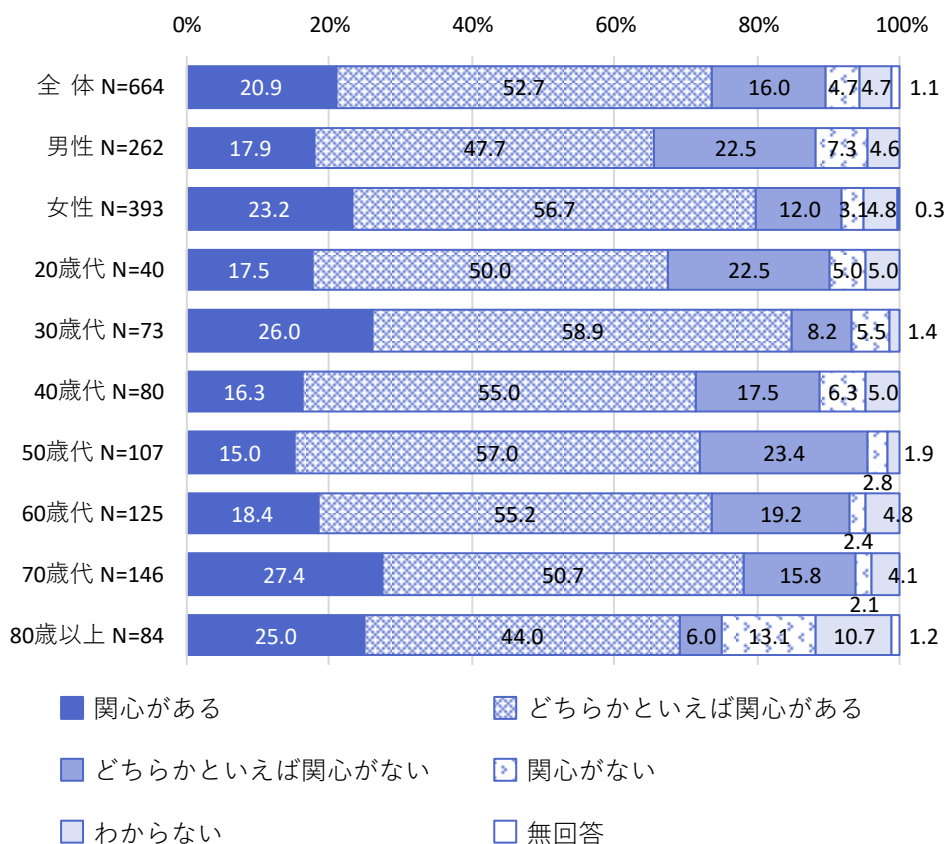
回答した方の健康状態は、「まあ良い」が59.2%、「とても良い」が8.4%となっており、この2つをあわせた『良い』は67.6%となっています。一方、「あまり良くない」(9.8%)と「良くない」(3.0%)をあわせた『良くない』は12.8%となっています。



- とても良い
- まあ良い
- どちらともいえない
- あまり良くない
- 良くない
- 無回答

「食育」について

問1 あなたは、「食育」に関心がありますか。(○は1つ)



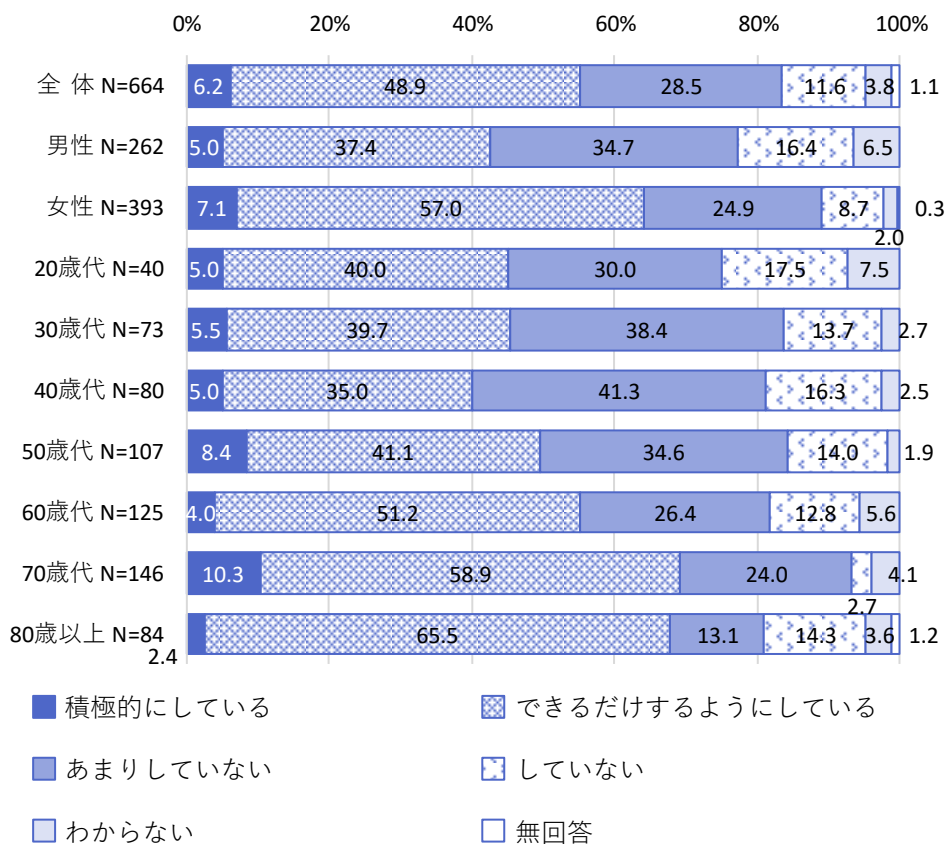
「食育」の関心度については、「関心がある」（20.9%）と「どちらかといえば関心がある」（52.7%）をあわせた『関心がある』は73.6%と7割以上の人が食育に関心を持っています。

性別に『関心がある』についてみると、「男性」が65.6%、「女性」が79.9%と男性よりも女性が14.3ポイント上回っています。

年齢別に『関心がある』についてみると、「30歳代」で84.9%と最も高く、次いで「70歳代」が78.1%となっています。最も関心が低かったのは「80歳以上」の69.0%で最も高い「30歳代」との差は15.9ポイントとなっています。

※ 性別について、「回答しない」の回答数が2件と少ないため、グラフには表示していません。（以降、同様。）

問2 あなたは、日頃から健全な食生活をおくるために「食育」を何らかの形で実践していますか。(○は1つ)

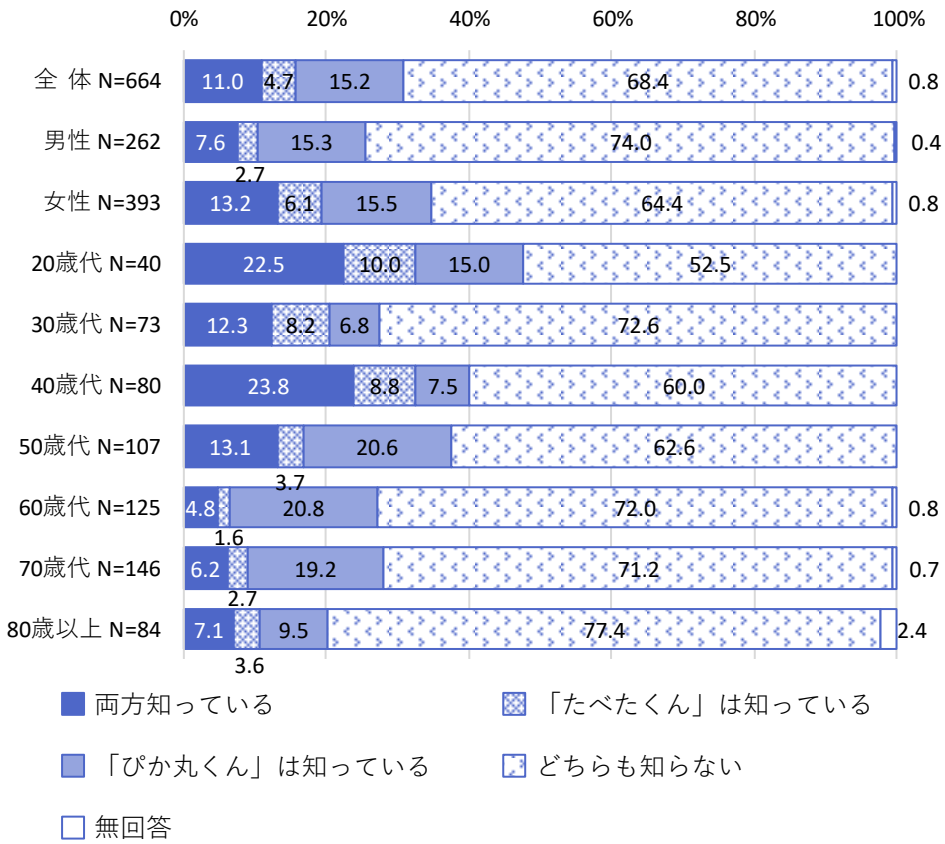


「食育」の実践については、「積極的に行っている」(6.2%)と「できるだけするようにしている」(48.9%)をあわせた『実践している』は55.1%と5割以上の方が食育を何らかの形で実践しています。

性別に『実践している』についてみると、「男性」が42.4%、「女性」が64.1%と男性よりも女性が21.7ポイント上回っています。

年齢別に『実践している』についてみると、「70歳代」で69.2%と最も高く、次いで「80歳以上」が67.9%となっています。最も実践していなかった年代は「40歳代」の40.0%で最も高い「70歳代」との差は29.2ポイントとなっています。

問3 あなたは、食育推進計画マスコットキャラクターの「たべたくん」と蒲郡メヒカリキャラクター「ぴか丸くん」を知っていますか。(〇は1つ)

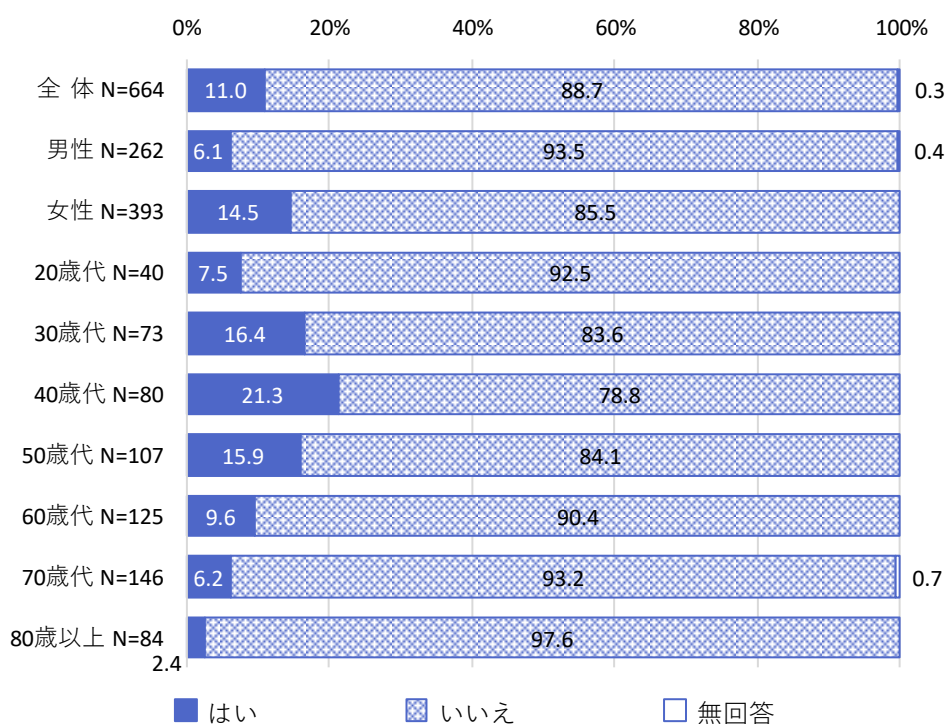


食育推進計画マスコットキャラクターの認知について、「両方知っている」は11.0%、「たべたくん」は知っているが4.7%、「ぴか丸くん」は知っているが15.2%となっており、いずれかのマスコットキャラクターを認知している人は約3割となっています。一方、「どちらも知らない」は68.4%と高くなっています。

性別にいずれかのマスコットキャラクターを認知しているかについてみると、「男性」が25.6%、「女性」が34.8%と男性よりも女性が9.2ポイント上回っています。

年齢別にいずれかのマスコットキャラクターを認知しているかについてみると、「20歳代」で47.5%と最も高く、次いで「40歳代」が40.1%となっています。最も認知度が低かった年代は「80歳以上」で20.2%となっています。

問4 「毎月19日」が食育の日と知っていましたか。(〇は1つ)



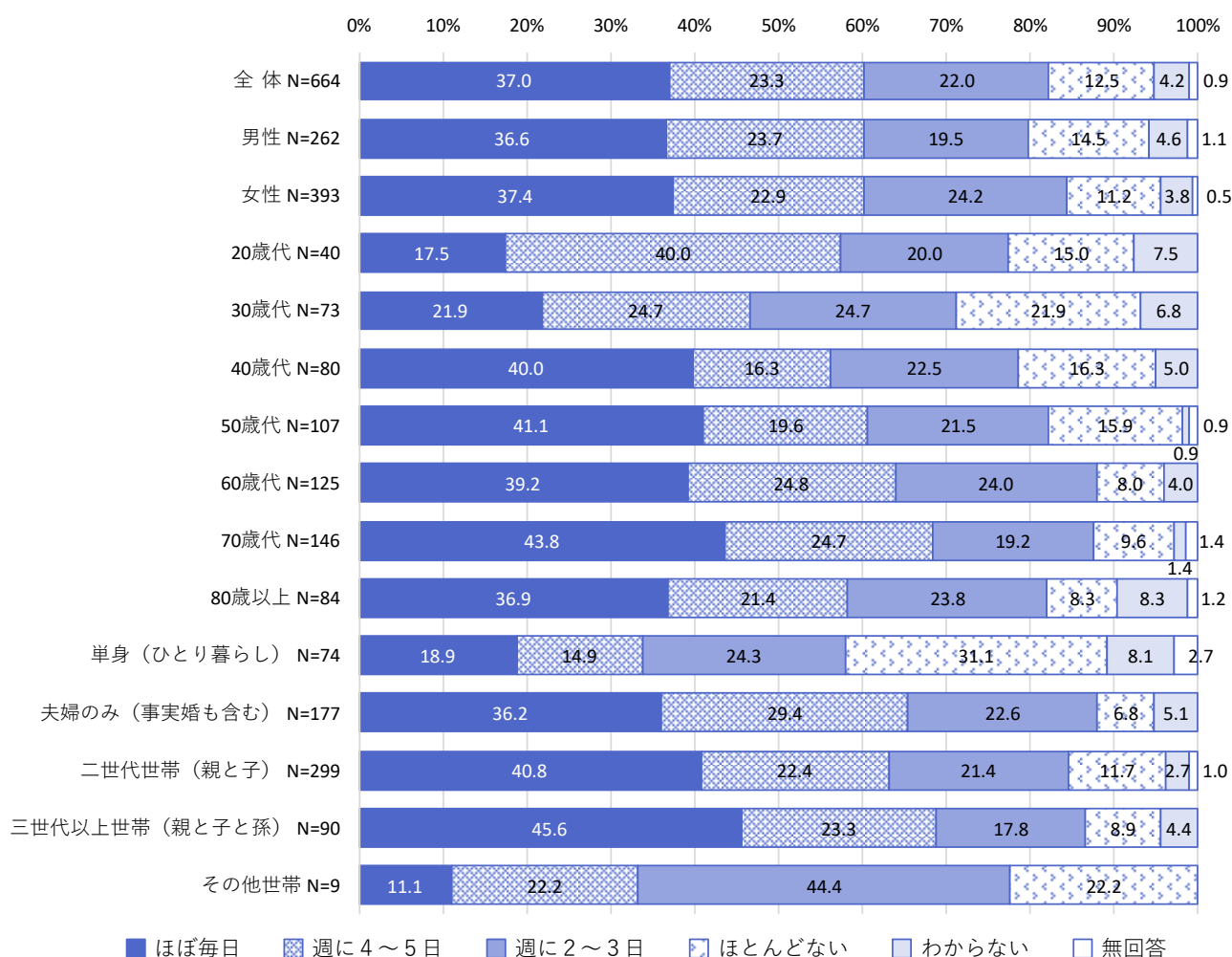
食育の日の認知について、「はい」が11.0%「いいえ」が88.7%と、食育の日の認知度は1割程度となっています。

性別にみると、「男性」が6.1%、「女性」が14.5%となっており、男性よりも女性の認知度が高いものの、2割にも満たない割合となっています。

年齢別にみると、「40歳代」が21.3%で最も高く、次いで「30歳代」が16.4%となっています。最も認知度が低かった年代は「80歳以上」で2.4%となっています。

「食生活」について

問5 バランスのよい食事を1日2回以上とる日は、週に何日くらいありますか。(○は1つ)



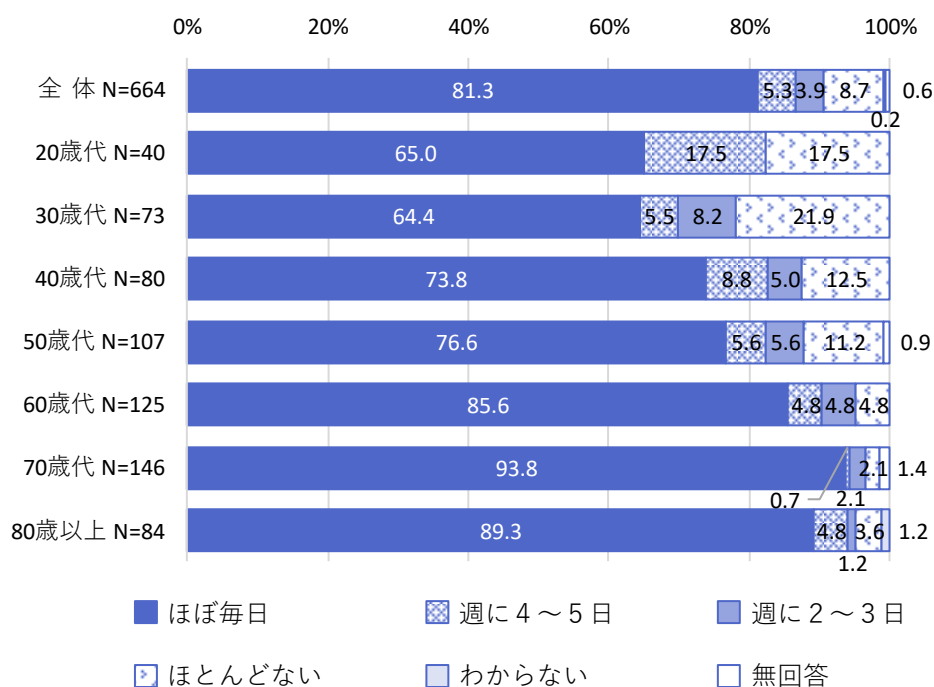
バランスのよい食事を1日2回以上とる日が週に何日かについては、「ほぼ毎日」が37.0%と最も高く、次いで「週に4~5日」(23.3%)、「週に2~3日」(22.0%)となっています。

性別に「ほぼ毎日」についてみると、「男性」が36.6%、「女性」が37.4%となっており、大きな差はみられません。

年齢別に「ほぼ毎日」についてみると、「70歳代」が43.8%と最も高く、次いで「50歳代」(41.1%)、「40歳代」(40.0%)となっており、最も低かった年代は「20歳代」の17.5%で最も高い「70歳代」との差は26.3ポイントとなっています。

家族構成別に「ほぼ毎日」についてみると、「三世帯以上世帯(親と子と孫)」が45.6%で最も高く、同居者のいない「单身(ひとり暮らし)」は18.9%と低くなっています。

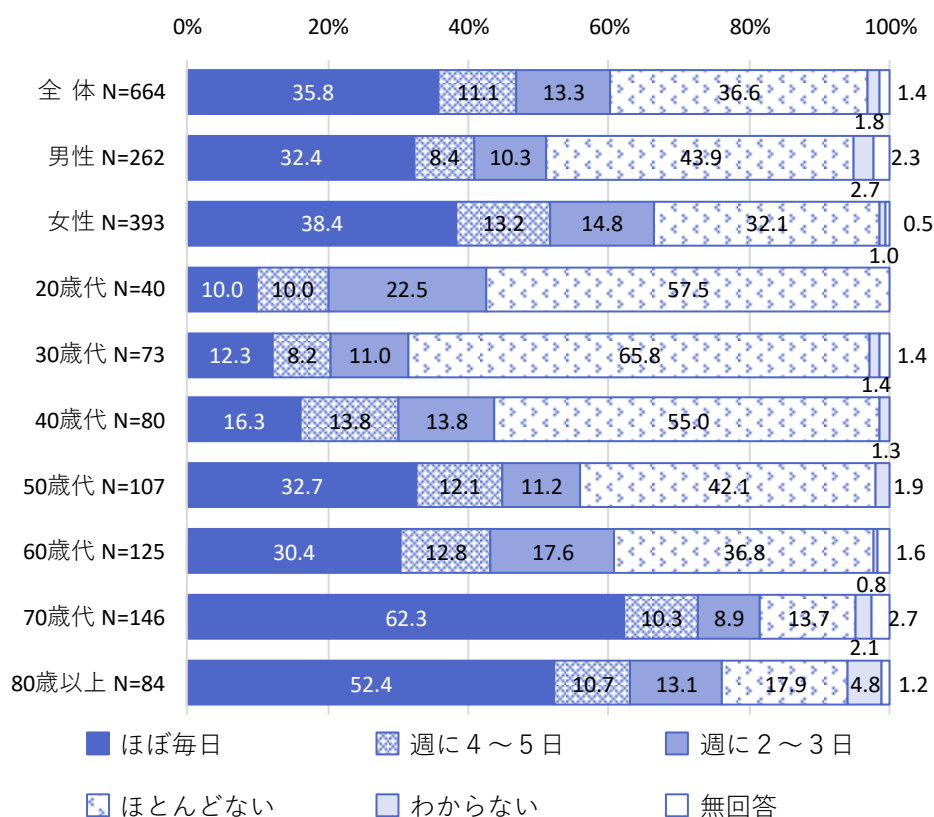
問6 あなたは、普段、朝ごはんを食べますか。(〇は1つ)



普段の朝ごはんの摂取については、「ほぼ毎日」が81.3%と最も高くなっています。一方、「ほとんどない」は8.7%となっています。

年齢別に「ほぼ毎日」についてみると、「70歳代」が93.8%と最も高く、次いで「80歳以上」(89.3%)、「60歳代」(85.6%)となっています。最も低かった年代は「30歳代」で64.4%となっており、30歳代の「ほとんどない」が21.9%と他の年代に比べて高くなっています。

問7 あなたの食べる朝ご飯には、野菜が入っていますか。(〇は1つ)

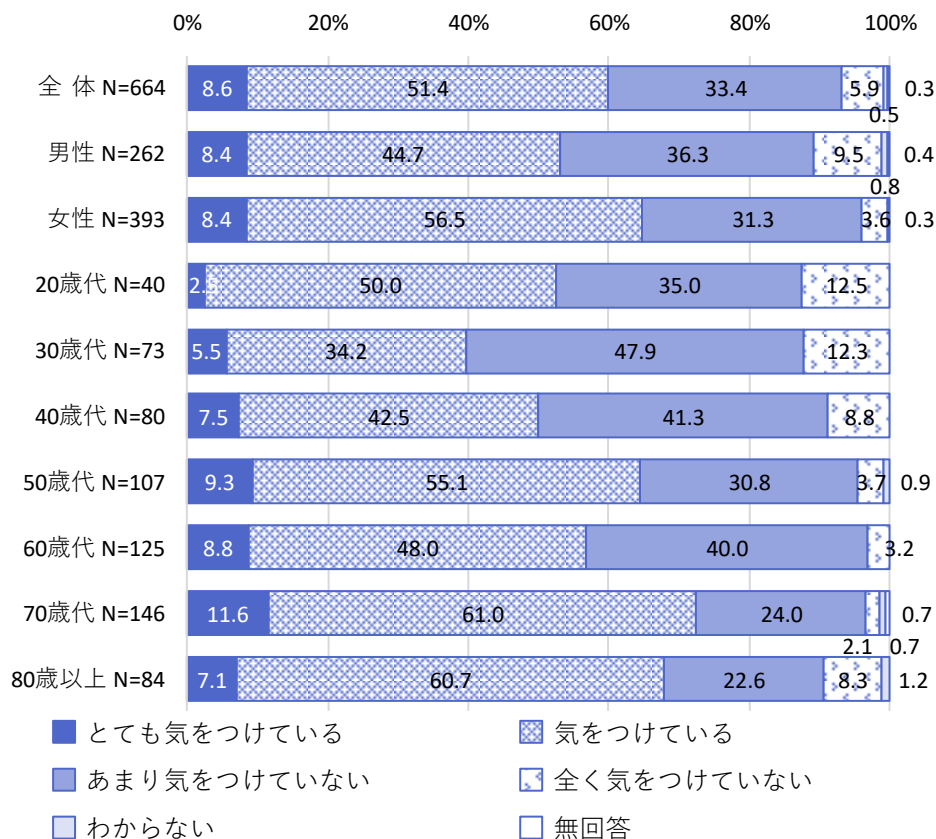


朝ごはん時に野菜が入っているかについては、「ほぼ毎日」が35.8%となっています。一方、「ほとんどない」は36.6%となっています。

性別にみると、「男性」では「ほとんどない」が43.9%で最も高く、「女性」では「ほぼ毎日」が38.4%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「70歳代」で「ほぼ毎日」が62.3%と最も高く、逆に「30歳代」で「ほとんどない」が65.8%と最も高くなっています。

問8 生活習慣病の予防や改善のために、あなたは、普段から適正体重の維持や減塩など、食生活に気をつけていますか。(○は1つ)

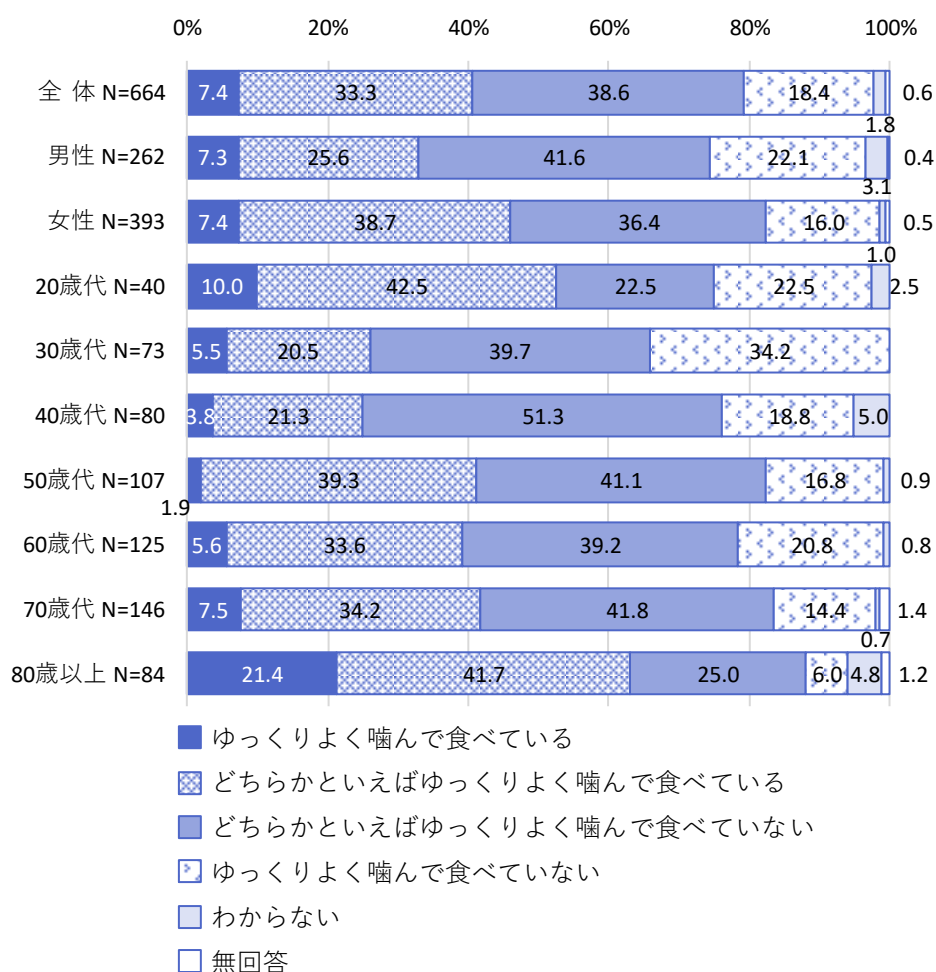


生活習慣病の予防や改善のために気をつけていることについては、「とても気をつけている」(8.6%)と「気をつけている」(51.4%)をあわせた『気をつけている』は60.0%となっています。

性別に『気をつけている』についてみると、「男性」が53.1%、「女性」が64.9%と男性よりも女性が11.8ポイント上回っています。

年齢別に『気をつけている』についてみると、「70歳代」で72.6%と最も高く、次いで「50歳代」が64.4%となっています。最も値が低かったのは「30歳代」の39.7%で最も高い「70歳代」との差は32.9ポイントとなっています。

問9 あなたは、普段、ゆっくりよく噛んで食べていますか。(○は1つ)

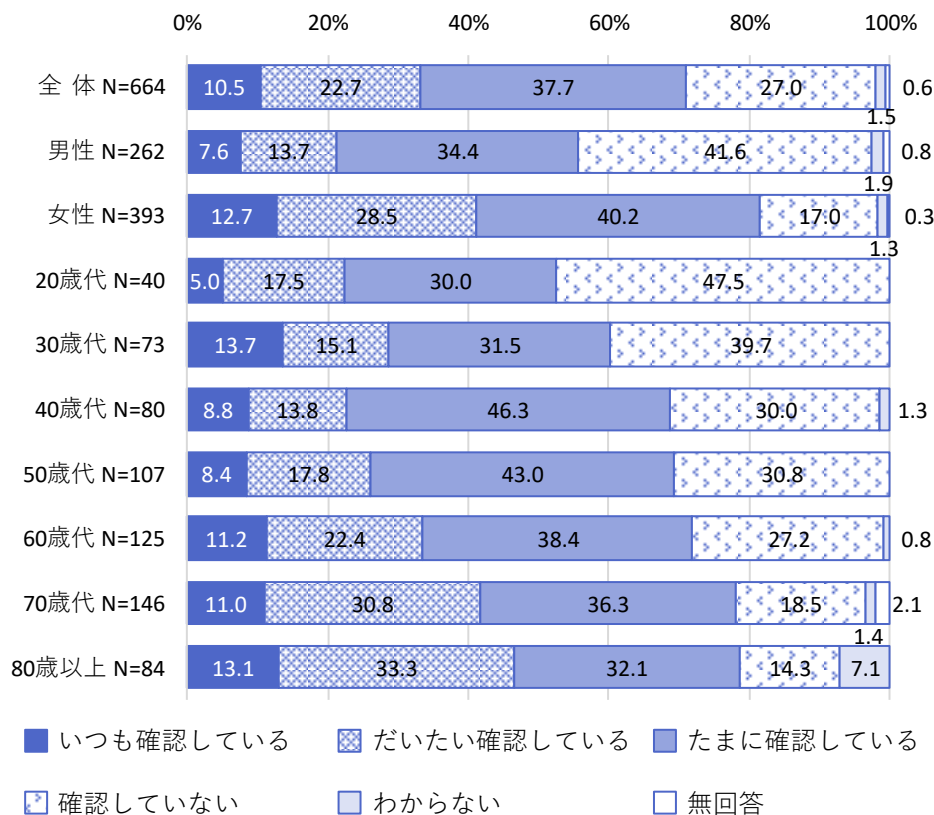


普段、よく噛んで食べているかについては、「ゆっくりよく噛んで食べている」(7.4%)と「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」(33.3%)をあわせた『よく噛んで食べている』は40.7%となっています。一方、「どちらかといえばよく噛んで食べていない」(38.6%)と「ゆっくりよく噛んで食べていない」(18.4%)をあわせた『よく噛んで食べていない』は57.0%と5割を超えています。

性別に『よく噛んで食べている』についてみると、「男性」が32.9%、「女性」が46.1%と男性よりも女性が13.2ポイント上回っています。

年齢別に『よく噛んで食べている』についてみると、「80歳以上」で63.1%と最も高く、次いで「20歳代」が52.5%となっています。一方、『よく噛んで食べていない』についてみると、「30歳代」が73.9%と最も高くなっています。

問10 あなたは、食品を買うときに「原材料」「食品添加物」「栄養成分」「アレルギー表示」など、容器包装等に記載されている表示を確認していますか。(○は1つ)



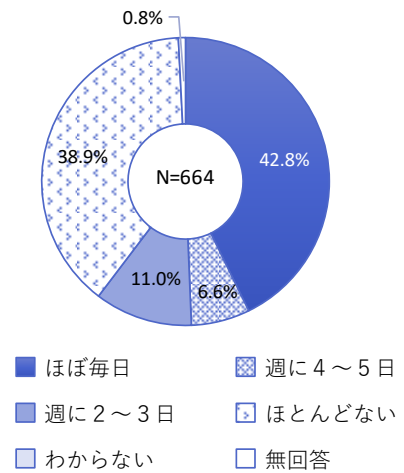
食品を買う際の添加物等表示の確認有無については、「たまに確認している」が37.7%で最も高く、次いで「だいたい確認している」(22.7%)、「いつも確認している」(10.5%)となっています。一方、「確認していない」は27.0%となっています。

性別に「確認していない」についてみると、「男性」が41.6%、「女性」が17.0%と女性よりも男性が24.6ポイント上回っています。

年齢別に「確認していない」についてみると、「20歳代」が47.5%と最も高く、次いで「30歳代」(39.7%)、「50歳代」(30.8%)と年代が低くなるにほど、「確認していない」割合が高くなる傾向にあります。

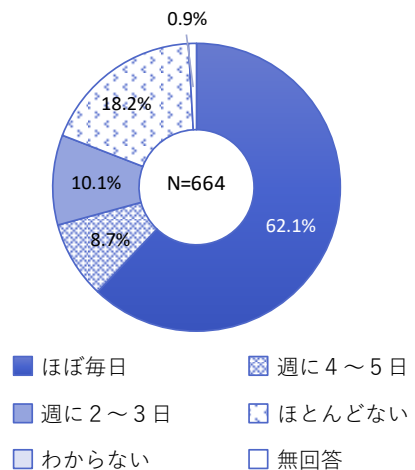
問11 朝食を家族・友人などと一緒に食べるのが、週に何日ありますか。(○は1つ)

朝食を家族・友人などと一緒に食べる日が週に何日あるかについてみると、「ほぼ毎日」が42.8%で最も高くなっています。一方、「ほとんどない」は38.9%となっています。



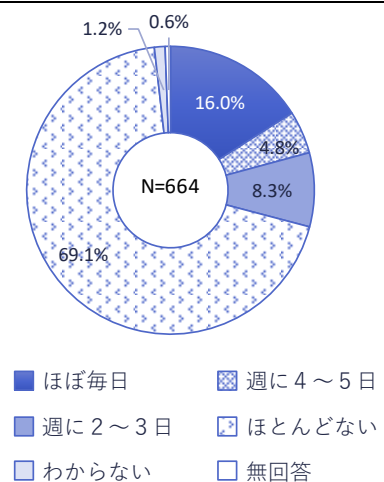
問12 夕食を家族・友人などと一緒に食べるのが、週に何日ありますか。(○は1つ)

夕食を家族・友人などと一緒に食べる日が週に何日あるかについてみると、「ほぼ毎日」が62.1%で最も高くなっています。一方、「ほとんどない」は18.2%となっています。



問13 あなたは、1日の全ての食事を一人で食べるのが、週に何日ありますか。(○は1つ)

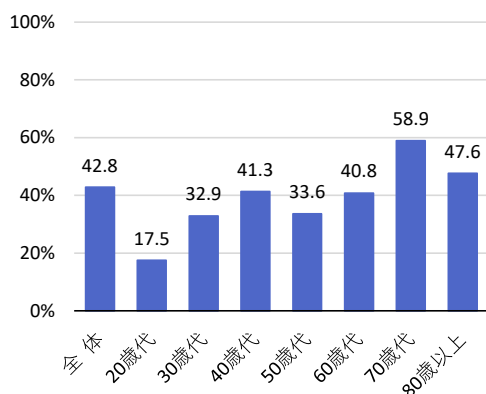
1日の全ての食事を一人で食べる日が何日あるかについてみると、「ほとんどない」が69.1%で最も高くなっています。一方、「ほぼ毎日」は16.0%となっています。



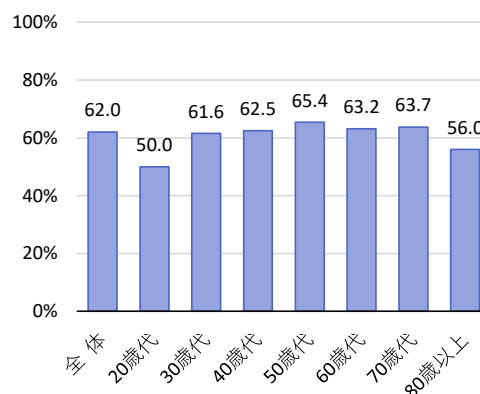
年齢別に、朝食、夕食を「ほぼ毎日」誰かと一緒に食べる人でみると、朝食については「70歳代」で58.9%と高くなっているものの、他の年代は50%以下となっており、「20歳代」では17.5%と低くなっています。

夕食については、どの年代も朝食より高い割合を示しており、朝食で割合の低かった「20歳代」でも50.0%が夕食を誰かとともにしています。

【朝食】 ほぼ毎日

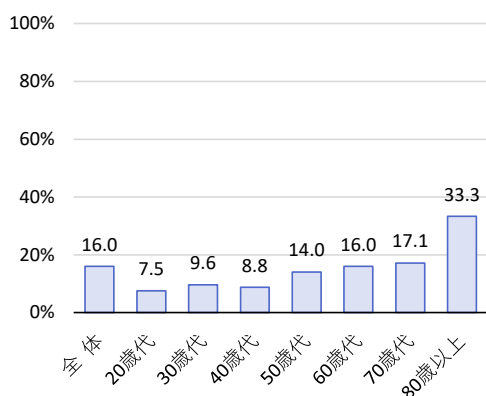


【夕食】 ほぼ毎日

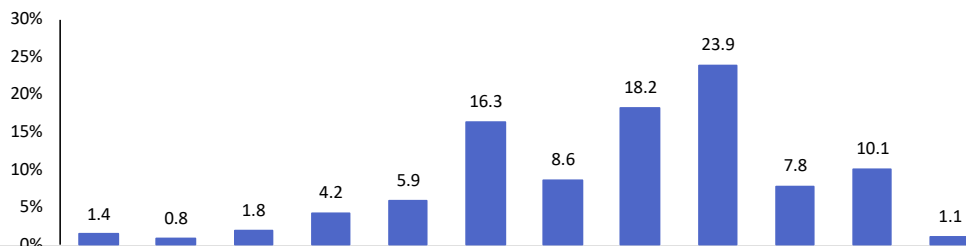


1日の全ての食事を「ほぼ毎日」一人で食べる人についてみると、「80歳以上」で33.3%と他の年代に比べ高くなっています。

【1日の全ての食事】 ほぼ毎日



問14 あなたは、現在の食生活にどの程度満足していますか。（「満足していない」を0点、「満足している」を10点として、該当する数字1つに○をつけてください。）



	N	満足していない 0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	満足している 10点	無回答	平均(点)	
全体	664	1.4	0.8	1.8	4.2	5.9	16.3	8.6	18.2	23.9	7.8	10.1	1.1	6.71	
性別	男性	262	1.9	0.8	2.7	5.3	5.7	13.0	10.7	15.3	24.0	7.6	12.2	0.8	6.69
	女性	393	1.0	0.8	1.3	3.6	6.1	18.3	7.4	20.1	24.2	7.6	8.7	1.0	6.70
	回答しない	2						50.0		50.0					6.00
年齢別	20歳代	40	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	17.5	5.0	32.5	27.5	5.0			6.35
	30歳代	73	5.5		1.4	4.1	6.8	19.2	11.0	12.3	24.7	5.5	9.6		6.33
	40歳代	80			2.5	8.8	5.0	20.0	7.5	16.3	25.0	6.3	8.8		6.54
	50歳代	107	0.9		2.8	1.9	6.5	11.2	7.5	23.4	28.0	7.5	10.3		6.96
	60歳代	125	0.8	0.8		4.8	7.2	16.0	11.2	17.6	18.4	10.4	11.2	1.6	6.78
	70歳代	146	0.7	0.7	2.7	4.8	6.8	13.7	8.2	17.8	24.0	6.2	12.3	2.1	6.75
	80歳以上	84	1.2	2.4	1.2	2.4	3.6	21.4	7.1	14.3	23.8	9.5	11.9	1.2	6.80
居住地区	大塚中学校区	39	2.6		5.1	2.6	7.7	30.8	10.3	15.4	10.3	7.7	7.7		6.00
	三谷中学校区	87	2.3		1.1	5.7	6.9	12.6	8.0	13.8	28.7	10.3	9.2	1.1	6.78
	蒲郡中学校区	144		1.4	0.7	4.9	5.6	15.3	9.7	18.8	25.7	6.3	11.1	0.7	6.83
	中部中学校区	86		1.2	1.2	5.8	2.3	18.6	10.5	16.3	24.4	8.1	11.6		6.85
	塩津中学校区	73	1.4	1.4	1.4	2.7	9.6	11.0	9.6	26.0	21.9	6.8	8.2		6.64
	形原中学校区	143	2.1	0.7	2.8	3.5	4.2	14.7	7.7	22.4	24.5	5.6	10.5	1.4	6.70
	西浦中学校区	56	1.8			1.8	10.7	21.4	1.8	16.1	25.0	12.5	7.1	1.8	6.75
学区不明	1								100.0					7.00	

現在の生活の満足度を点数で見ると、「8点」が23.9%で最も高く、次いで「7点」(18.2%)、「5点」(16.3%)となっており、平均は6.71点となっています。

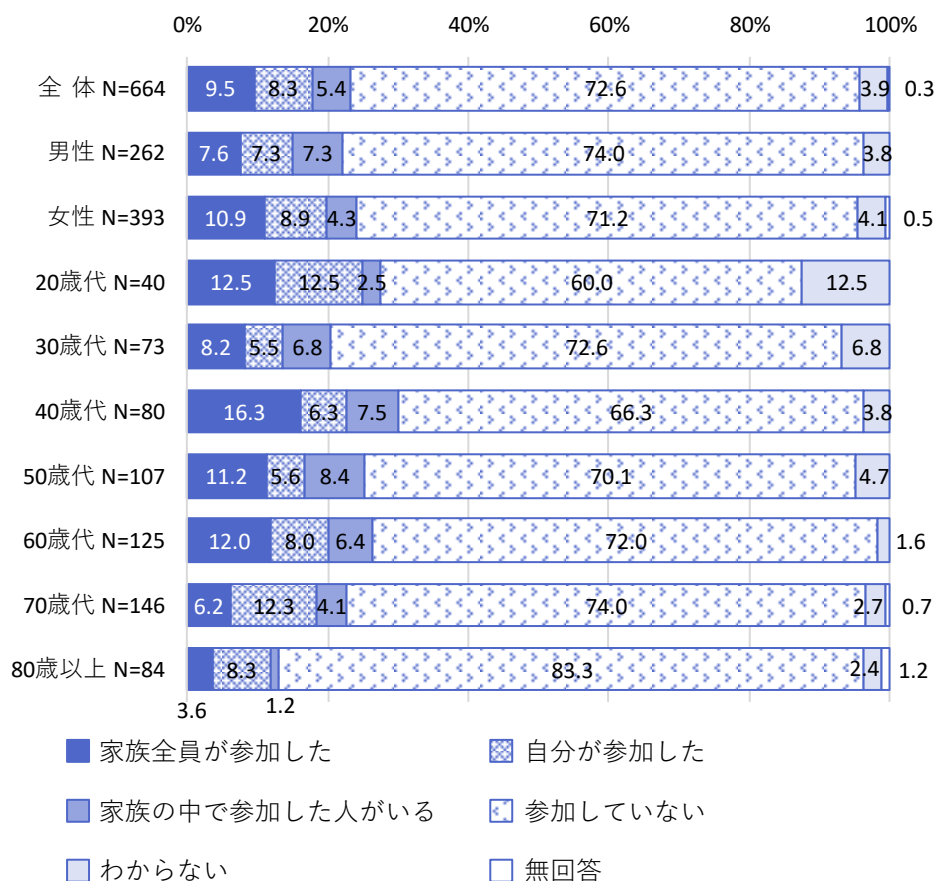
性別にみると、「男性」の平均は6.69点、「女性」の平均は6.70点と、性別による差はあまりみられません。

年齢別にみると、「50歳代」の平均が6.96点で最も高く、「30歳代」の平均が6.33点で最も低くなっています。

居住地区別にみると、「中部中学校区」の平均が6.85点で最も高く、「大塚中学校区」の平均が6.00点で最も低くなっています。

「地産地消・食文化」について

問15 これまで、あなた又は、あなたの家族の中で農林漁業体験に参加したことがある人はいますか。(〇は1つ)

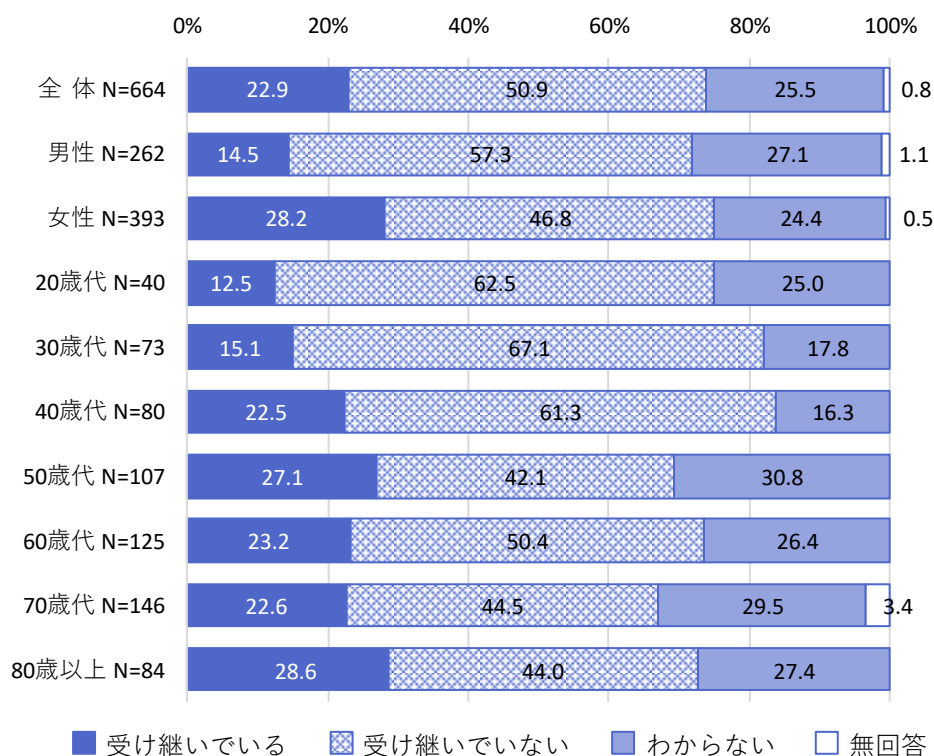


農林漁業体験の参加有無については、「参加していない」が72.6%で最も高くなっています。

性別にみても大きな差はみられません。

年齢別に参加経験についてみると、「40歳代」で「家族全員が参加した」が16.3%と他の年代に比べて高くなっています。また、「80歳以上」では83.3%の人が「参加していない」となっています。

問16 あなたは、郷土料理や伝統料理などの地域や家庭で受け継がれた料理、食べ方や作法を受け継いでいますか。(〇は1つ)

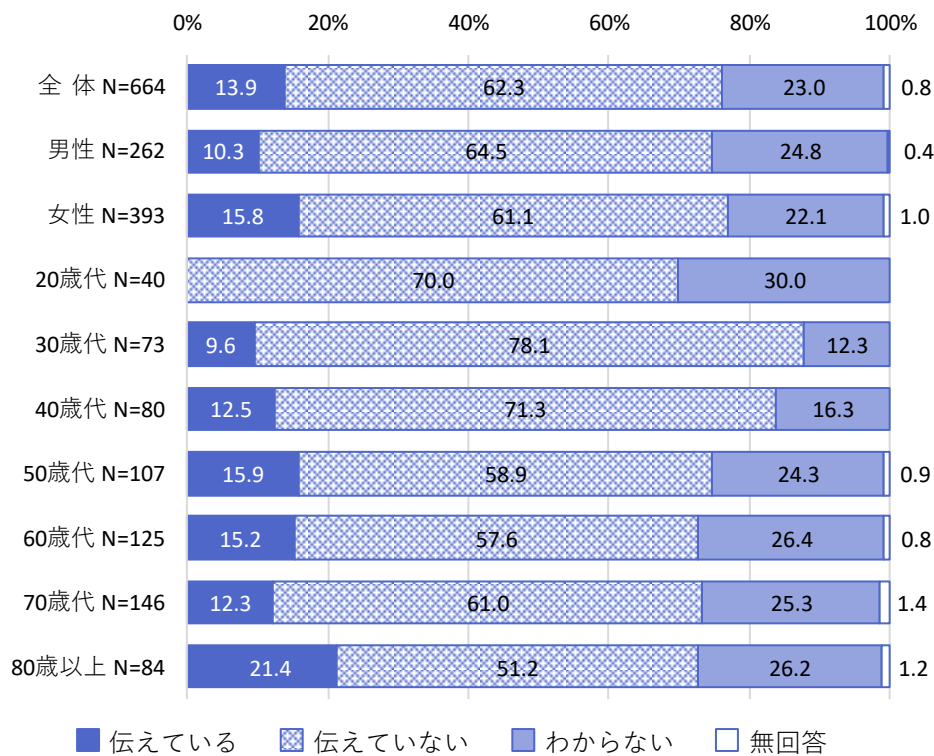


郷土料理や伝統料理、作法等の継承については、「受け継いでいない」が50.9%で最も高く、次いで「わからない」(25.5%)、「受け継いでいる」(22.9%)となっています。

性別に「受け継いでいる」についてみると、「男性」が14.5%、「女性」が28.2%と男性よりも女性が13.7ポイント上回っています。

年齢別に「受け継いでいる」についてみると、「20歳代」「30歳代」が1割台、40歳代以上で2割台となっています。

問17 あなたは、郷土料理や伝統料理などの地域や家庭で受け継がれた料理、食べ方や作法を家族などへ伝えていますか。(〇は1つ)

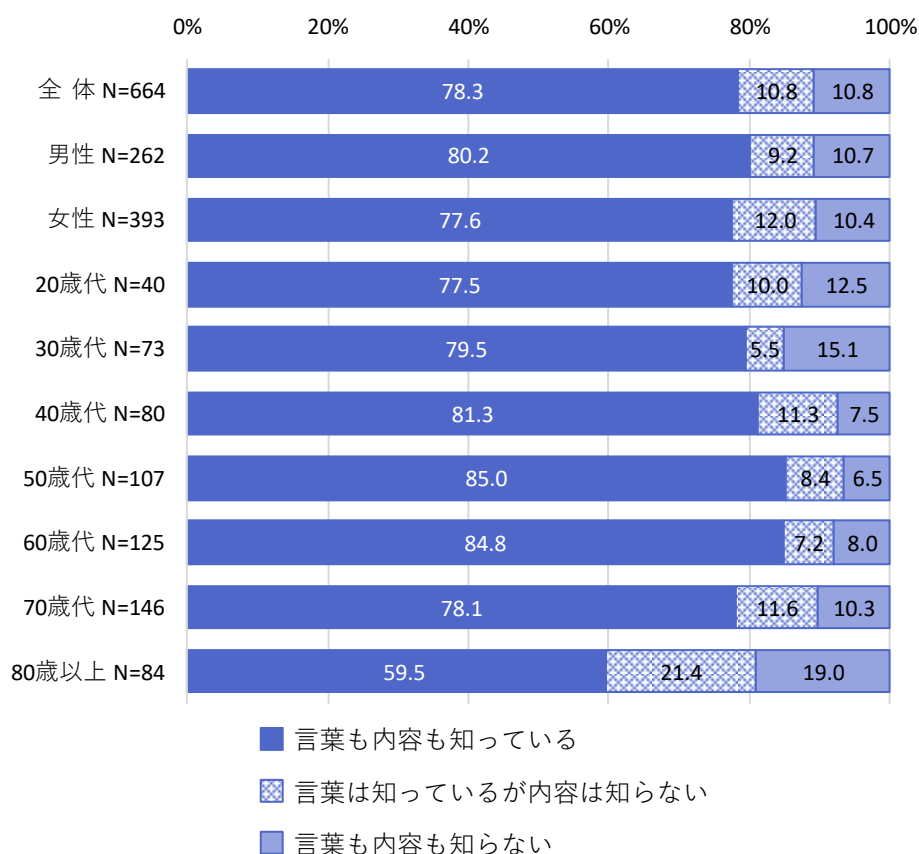


郷土料理や伝統料理、作法等の家族への継承については、「伝えていない」が62.3%で最も高く、次いで「わからない」(23.0%)、「伝えている」(13.9%)となっています。

性別にみても大きな差はみられません。

年齢別に「伝えている」についてみると、「20歳代」が0%となっています。また、「80歳以上」で21.4%と他の年代に比べて割合は高いものの、郷土料理や作法等の継承は2割程度に留まっています。

問18 あなたは、「地産地消」という言葉と内容を知っていますか。(○は1つ)

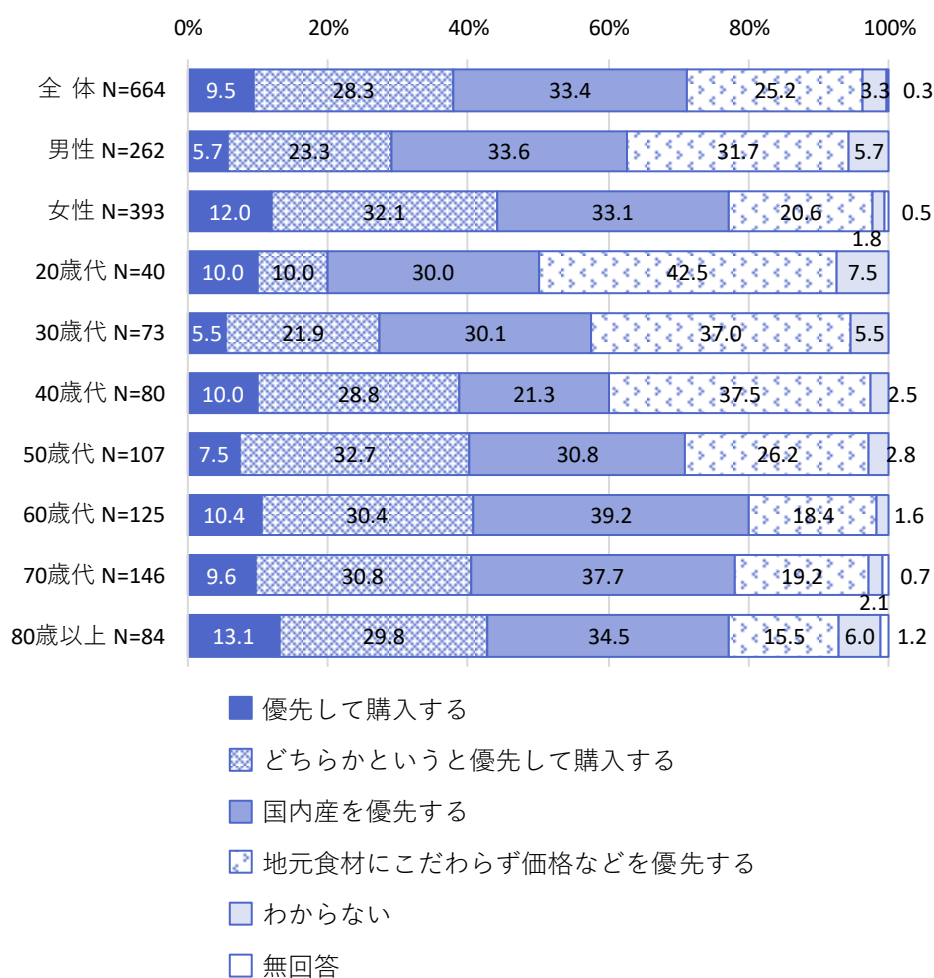


「地産地消」という言葉の認知については、「言葉も内容も知っている」が78.3%で最も高くなっています。

性別にみても大きな差はみられません。

年齢別に「言葉も内容も知っている」でみると、20歳代から50歳代まで年齢が高くなるほど増加傾向となり「50歳代」で85.0%となっています。60歳代以降は減少傾向となり、「80歳以上」では59.5%となっています。

問19 あなたは、普段、食品を選ぶ時に地元食材を優先して購入しますか。(○は1つ)

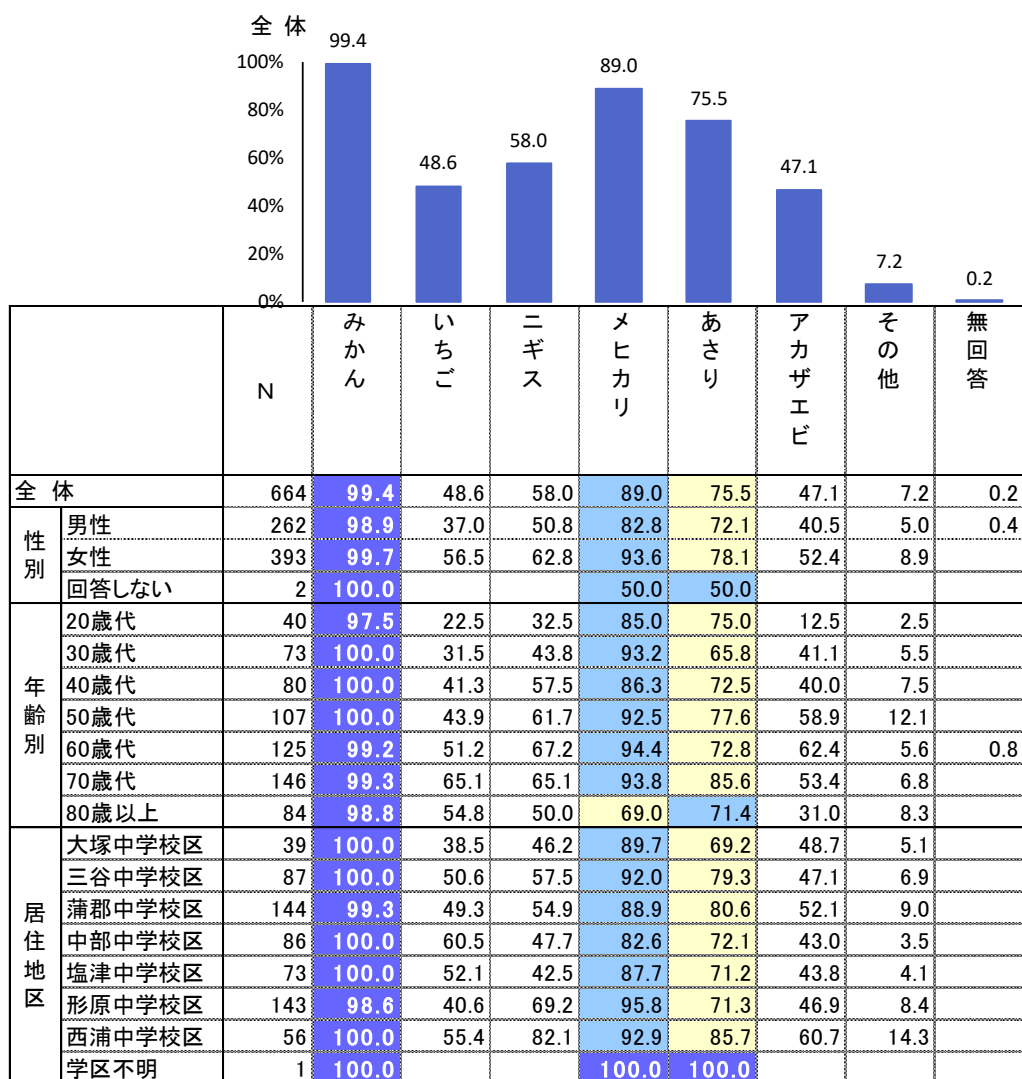


食品を選ぶ時に地元食材を優先した購入をするかについては、「優先して購入する」(9.5%)と「どちらかというと優先して購入する」(28.3%)をあわせた『地元食材を購入する』が37.8%となっています。また、「国内産を優先する」は33.4%、「地元食材にこだわらず価格などを優先する」が25.2%となっています。

性別に『地元食材を購入する』についてみると、「男性」が29.0%、「女性」が44.1%と男性よりも女性が15.1ポイント上回っています。

年齢別に『地元食材を購入する』についてみると、概ね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、「20歳代」で20.0%が「80歳以上」では42.9%とその差は22.9ポイントとなっています。一方、「地元食材にこだわらず価格などを優先する」では、概ね年齢が低くなるほど割合が高くなり、若年層ほど価格を優先する傾向がみられます。

問20 あなたが知っている蒲郡市の特産物は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



知っている蒲郡市の特産物についてみると、「みかん」が99.4%で最も高く、次いで「メヒカリ」(89.0%)、「あさり」(75.5%)となっています。

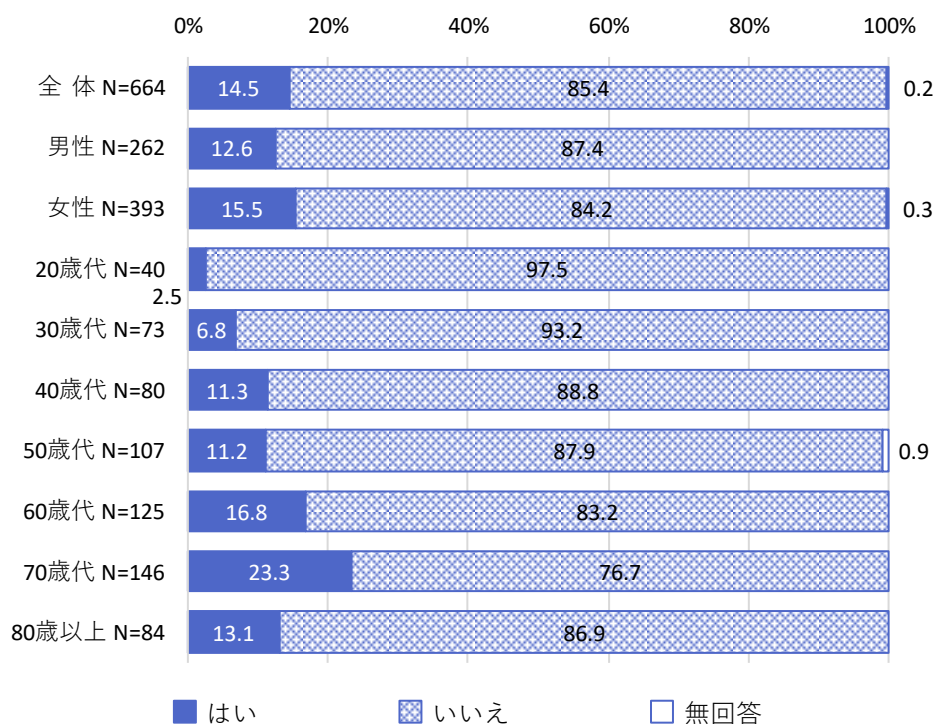
性別にみても、大きな差はあまりみられません。

年齢別にみると、「30歳代」「40歳代」「50歳代」で「みかん」が100%となっています。また、「20歳代」で「いちご」「ニギス」「アカザエビ」が他の年代に比べて低くなっています。

居住地区別にみると、「蒲郡中学校区」「形原中学校区」を除く、居住地区で「みかん」が100%となっています。

「食」について

問21 あなたは、過去3年間に、地域や自治会等での食に関するイベント（農林水産まつり、食育フェスタなど）に参加しましたか。（○は1つ）

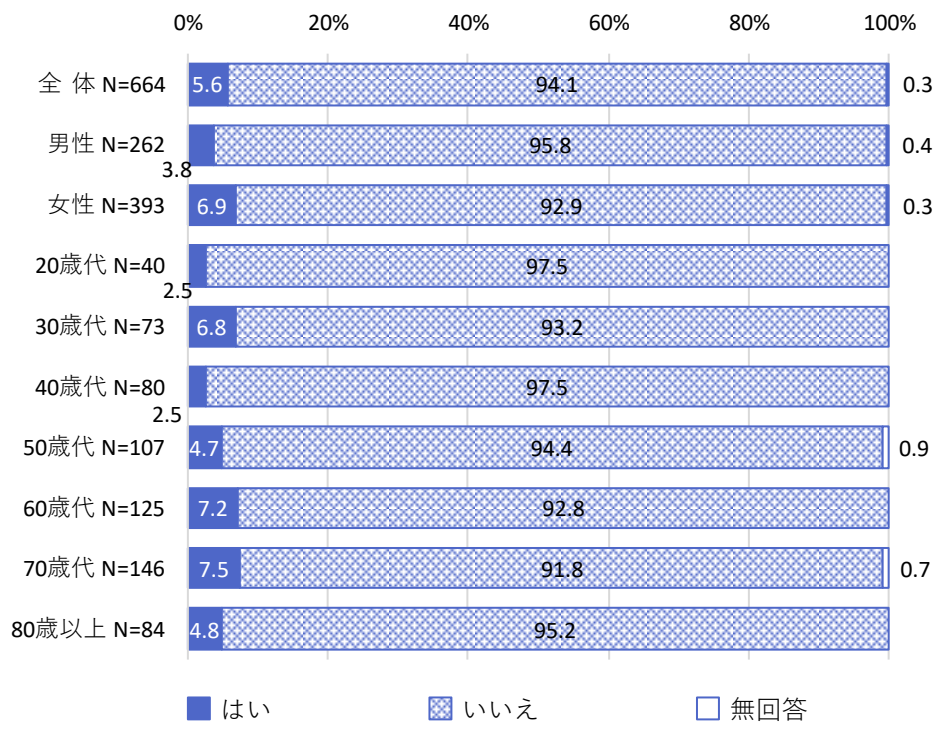


過去3年間の地域や自治会等での食に関するイベントの参加有無についてみると、「はい」が14.5%、「いいえ」が85.4%となっています。

性別にみても、大きな差はあまりみられません。

年齢別にみると、イベントに参加したことがある人は「70歳代」が23.3%で最も高くなっています。一方、「20歳代」では2.5%と最も低くなっています。

問22 あなたは、過去3年間に、食に関する講演会、研修や料理教室などに参加したことがありますか。(〇は1つ)



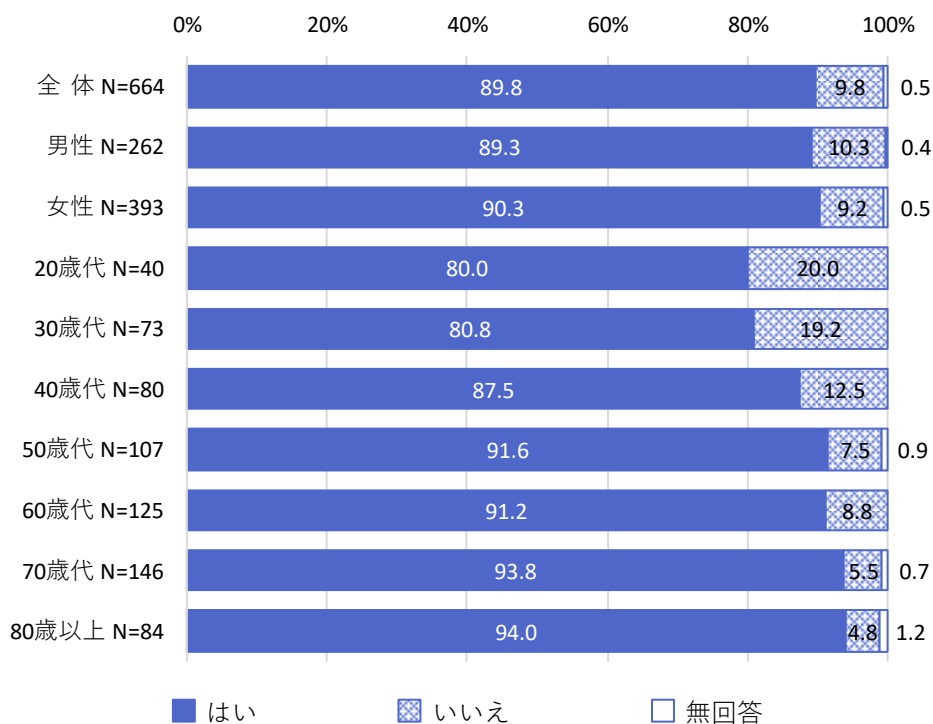
過去3年間の食に関する講演会、研修や料理教室等の参加有無についてみると、「はい」が5.6%、「いいえ」が94.1%となっています。

性別にみても、大きな差はあまりみられません。

年齢別にみると、講演会等に参加したことがある人は「20歳代」「40歳代」で2.5%と低くなっています。

「安全・環境」について

問23 あなたは、食品の食べ残しや廃棄を少なくするために注意していますか。(○は1つ)

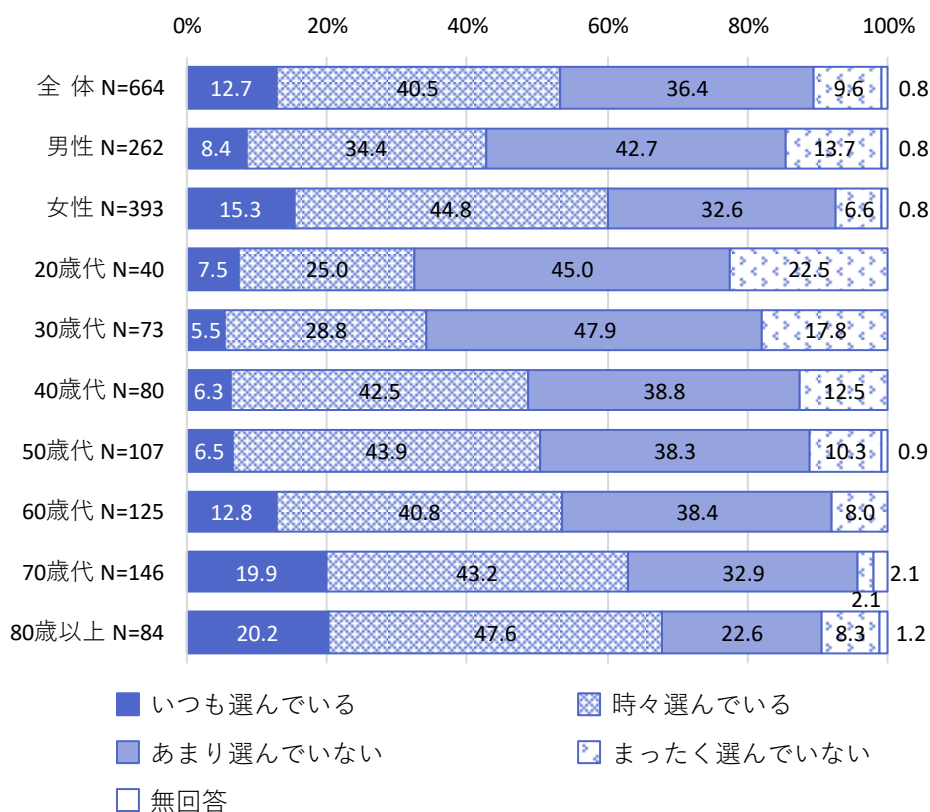


食品の食べ残しや廃棄を少なくするために注意しているかについてみると、「はい」が89.8%、「いいえ」が9.8%となっています。

性別にみても、大きな差はあまりみられません。

年齢別にみると、「いいえ」で「20歳代」「30歳代」が約2割と高くなっています。

問24 あなたは、日頃から環境に配慮した食材・食品を選んでいますか。(〇は1つ)

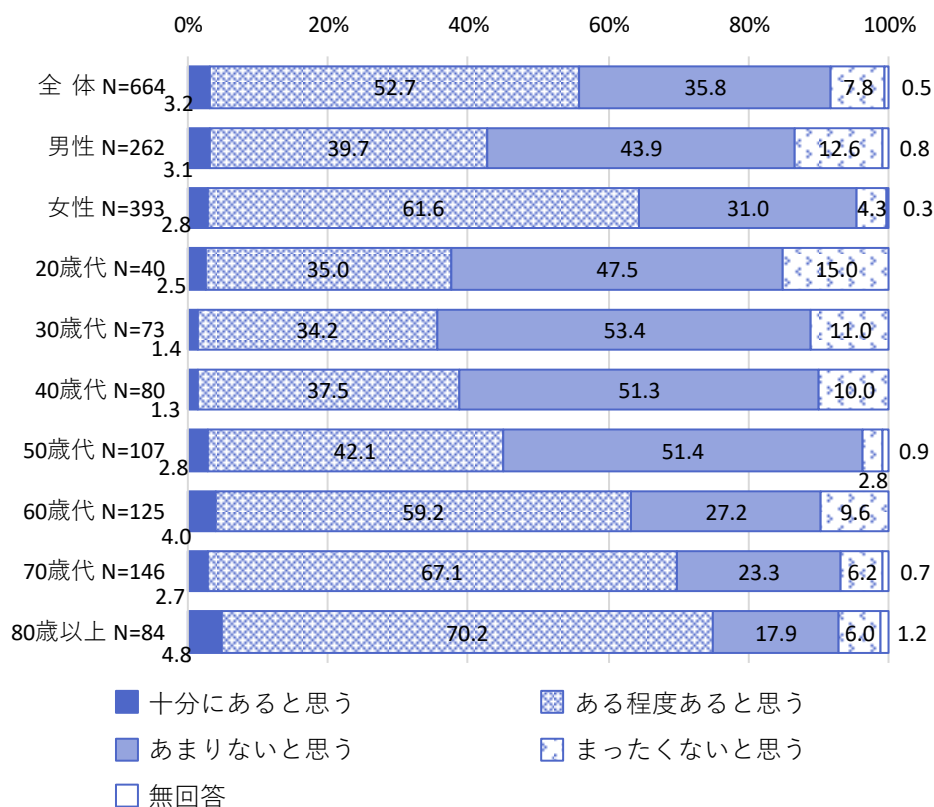


日頃から環境に配慮した食材・食品を選んでいるかについては、「いつも選んでいる」(12.7%)と「時々選んでいる」(40.5%)をあわせた『選んでいる』は53.2%となっています。

性別に『選んでいる』についてみると、「男性」が42.8%、「女性」が60.1%と男性よりも女性が17.3ポイント上回っています。

年齢別に『選んでいる』についてみると、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、「20歳代」で32.5%が「80歳以上」では67.8%とその差は35.3ポイントとなっています。

問25 あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識があると思いますか。(〇は1つ)

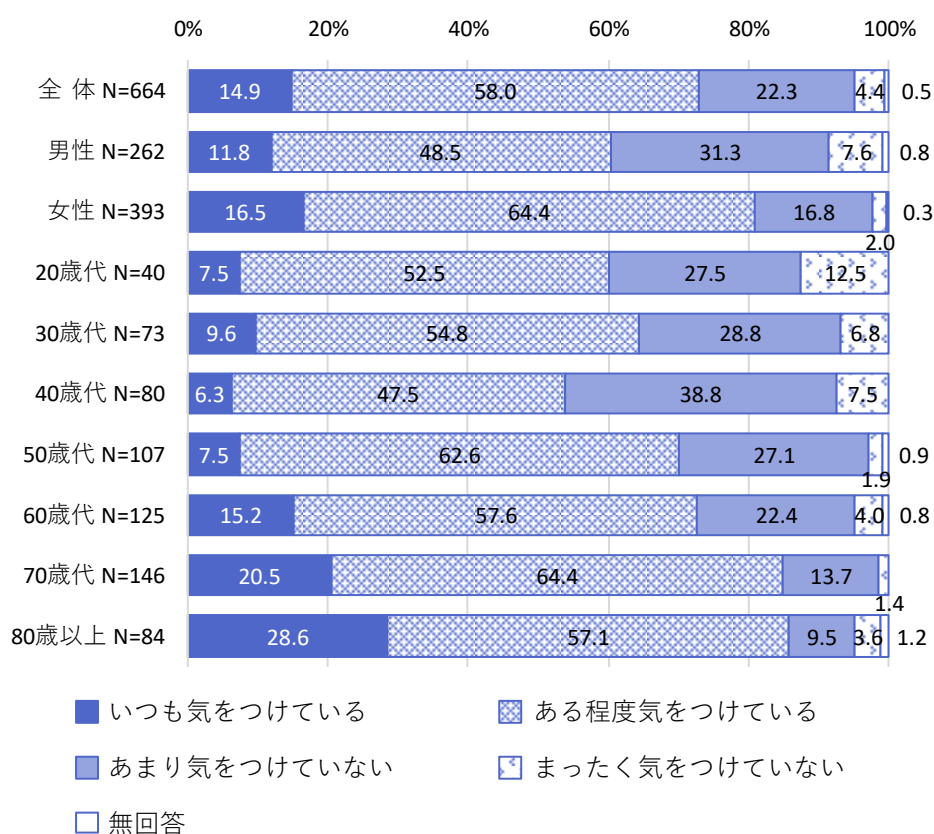


食品の安全性に関する基礎的な知識の有無については、「十分にあると思う」(3.2%)と「ある程度あると思う」(52.7%)をあわせた『あると思う』は55.9%となっています。

性別に『あると思う』についてみると、「男性」が42.8%、「女性」が64.4%と男性よりも女性が21.6ポイント上回っています。

年齢別に『あると思う』についてみると、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、「30歳代」で35.6%が「80歳以上」では75.0%とその差は39.4ポイントとなっています。

問26 あなたは、安全な食生活を送ることについてどの程度気をつけていますか。(○は1つ)



安全な食生活を送るために気をつけている程度については、「いつも気をつけている」(14.9%)と「ある程度気をつけている」(58.0%)をあわせた『気をつけている』は72.9%となっています。

性別に『気をつけている』についてみると、「男性」が60.3%、「女性」が80.9%と男性よりも女性が20.6ポイント上回っています。

年齢別に『気をつけている』についてみると、「40歳代」で53.8%が最も低く、「80歳以上」で85.7%が最も高くなっており、その差は31.9ポイントとなっています。

自由意見

問27 その他「食育」に関するご意見がございましたら、ご自由にご記入ください

自由意見
日本で使われている食品添加物の異常とも思える数を学校でも教えるべきだと思うし、もっと日本人にあった伝統食を復活していかないといけないと思う。柔らかいものばかりの食品で、子供達の骨の発達不全やそれに伴う歯並びの悪さや不正咬合による身体の発達不全などもっと一般的に知らせるべきだと思う。
給食をおいしく食べることができると将来大人になってもある程度おぼえていきたいと思います。（郷土料理など）そのため学校給食はとても大切なものだと感じています。ぜひ力を入れて考えていただきたいと思っています。
家族だけでなく、市内全体で食育に取り組んでほしい。市内の保育園で給食を自園で作っていないところがあり、これは乳幼児の時期から食育につながっていないと思われる。以前子ども課に要望したが、無駄であった。市の体制が子どもたちの食育について考えていない。農地についても同様で、市や県の土地の草を刈ってほしいと言うと刈ってくれないことが多く、農作物に悪影響をあたえている。これも食育につながらない。アンケートを取って蒲郡市は食育に関して努力していると建前だけで何もつながっていないと思う。市長はじめ、市の体制をもっと考えてほしい。私たちは税金もきちっと支払っているし協力をしていますよ。
蒲郡の地産地消教育を実際の収穫体験などをさせて定期的に体感させる。
小・中学校の生徒たちに給食・行事等で積極的に教育してほしい。
ウイルスや気候の変動など、今の子供達は生きていく為に必要な栄養素が欠けていると生命の危機になりかねないような時を過ごしているように思います。毎日毎日、親も気にかけて体調の変化、外気温の変化等に配慮しながら家族に食事を提供していますが、家庭によって差もあると思うし、忙しくてそこまで手が届かない日も多々ありますので、給食は本当にありがたいです。子ども達自身も保身の為食育の知識を身につけて欲しいと思います。
保育士をしています。保育園でも食育を重視しており、コロナ禍でも工夫しながら食育活動を取り入れています。小さい頃から「食」を意識し、“食べることって楽しい”と思えることは大事だと思うので、これからも保育士として積極的に食育活動を取り入れていきたいと思っています。
子どもは親の食への考え方にとっても影響される。若い親への食育も大事だと思います。
毎週西蒲マーケットに出掛けますが「取る漁業」から「育ての漁業」へ関心をもっている。蒲郡水産高校の生徒さんいろいろやっていますね。
子どもが小さな頃から意識しています。一人で行けば時短な買い物も、小さいうちはできるだけ家族で行き、一緒に見たり触れたり考えたり。料理を一緒に作ったり育てたり。ぜひお父さんにも興味をもってもらいたいですね。
小学校で積極的な取り組みをされているのを感じています。子どもたちは、朝食に野菜を食べるようにしています。自宅で家庭菜園も行っているの、子どもたちに植え付けなどを手伝わせています。
食育を考えた料理教室。
日曜日に食品、安全性、基礎的なことをイベントとして近くで開いてもらえたらと思う。
食育に関するイベントがあるといいです。
蒲郡で生まれ育ちましたが、みかんが身近にあるくらいで郷土料理とかあまり知らない気がします。子どもたちにも地元の食文化を伝えていきたいので、食に関する企画があれば参加していきたいです。
昨年のおさかな学校がとても楽しかったし勉強になり蒲郡が好きになった。でもコロナ禍で、おさかな好きの子ども同士の交流や意見交換などができず残念だったので、また参加したい。子どもたちが学び考え発信するような機会がこれからもあるといいです。
コロナで難しいかもしれませんが、子供にバランスの良い朝食の作り方などを教えてくれる講座があるとうれしいです。
蒲郡市としてももっともっと食育に関連した行事等いっぱい行ってほしいです。
若いお母さん方は働きに出ている方が多い時代となり小さな子を持つ人は毎朝の食事作りが大変で簡単な「パンと牛乳」だけなどしか摂らない家庭も多いと聞きます。すでに実施されていると思いますが保育園、小学校で母親向けの「食事の大切さ」について勉強会など催されると良いと思います。でもそういう勉強会に参加しない方こそ聞くべき内容なのにそもそも興味がないので参加しないかも？ですね。口から入った物で人間の体が作られているのに…。残念。
ひとり暮らしの老人を地元の小学校・中学校に招いて、子どもたちと一緒に給食を食べる機会があると良いと思います。1年に2～3回可能ならgood!

自由意見

このアンケートを見るまでたべた君もぴか丸くんも知りませんでした。農林水産まつりなど、参加したいと思いました。

広報などでもっと食のことを発信してほしい。栄養のことやおいしい食べ方など。(特に野菜の)

どんな食育イベントがあるかわからないのもっと SNS で発信してほしいです。

市民に市で行っている活動があまり伝わってきてないのが少し残念です。キャラクターも今回のアンケートがなければ知らなかった。

ワンポイント「食育」など蒲郡広報に記載してほしいと思います。

一昨年に他市から引っ越してその当時子どもたちも学校を卒業して地域の方々ともほとんどつきあいがいからそもそも「蒲郡食育推進計画」というものをまったく知らない。転居してきた人にもそういうものがわかるような仕組み(制度?)を作ったらどうかと思う。

無添加のお菓子など、たまに買いますが、日常的に使う調味料など、どうしても値段の安い方を買いがちです。食育を広報などで気軽に読んで勉強できると良いなと思いました。

栄養バランスの良い食生活がいいことはわかっているのですが、毎日時間に追われて会社から帰って作る料理はバランスがいいとは言えません。時短料理を探しています。

わからないことがあるので、教えていただけたところがあるといいかな。

孫の好き嫌いを直す方法があったら知りたいです。

母親が私が中学生の頃、「弘法大師は便所に落ちているご飯粒をひろって食べた。あんたも一粒のご飯も残すな。」と言われ食べ物を残さないよう、又残ったら次の食事の時に食べるよう心掛けています。

食品ロスに関して知りたい。

野菜は家庭菜園で作っていて、お互い友人同士など交換して食べている。多く採れたものは、冷凍、乾燥、ジャム作りなど出来るだけ長く保存できるようにしている。スイカなど水分の多い皮など庭にうめて、ゴミを少なくしている。

農家で土地がありますので自分で作れるものは若い頃から栽培しています。特に夏野菜はいろいろなものを作っています。自分の口に入るものは自分で。作ったものは安心して食べることができるものです。なるべく無農薬で育てています。孫たちにも持たせる事が楽しみです。自分で作ったものはネギ一本も粗末にできません。

コンビニの食品の期限の短さ。スーパー等の様に”期限が近い物は値下げ”する事無く、全て廃棄してしまう。しかも、店の人達が食べる事も許されていない。

フードロス、これが一番気になる。自分ではできるだけ食べ残しはしない。茶わんのごはん一粒まで食べるように心掛けている。

食品ロスを少しでも無くすために、面倒ではあるけど袋詰めや箱売りよりもやはり必要なだけ計り売りを基本にした方がいいんじゃないかと思います。

作り過ぎ、保存が難しいものは避ける

地産地消、消毒をしない、ビニール類は使わない。

中国産のものを買わないようにつとめている。

道の駅開設により蒲郡の農産物、海産物を市外にアピールするとともに市民に割安で購入できるようにしてほしい。

地産の弁当などがあったらよいと思う。

私は JA の料理教室に参加したり、保健センターの健康教室に参加したりして知識を深める努力をしています。ただ蒲郡は、田原、知多と肉、野菜もちろん地元産に豊富に恵まれています。なのに、他県のものの方が安いと首を傾げます。もちろん適正な価格は必要です。またあまり規格にこだわらず出荷してほしいと思います。見た目こだわってフードロスしてはあまりにもったいないと思います。

海の近くの土地なのに新鮮な魚がいつでも買える場所がない。スーパーなどでも地元の品ではない物が多い。

食品添加物には気を付けて食材を選んでいます。子育てもとついに終わり、食育に関する情報に接する機会もあまりありません。今回のアンケートでまた食育を見直そうと思います。ありがとうございました。

日本は諸外国と比べると添加物が多すぎます。がんもなぜか増えています。食はとっても大切です。蒲郡は農産物を作っているので無農薬や学校給食をもっと考えた方がいいと思います。

安全な食生活を送るためにはお金と時間がかかります。大量生産された安いものは添加物がいっぱい。健康な食生活は材料さがしから大変。添加物が入っていないものなんてない。

子育て世代には加工食品も必要なので、できるだけ添加物の少ないものが増えるといいなと思っています。

自由意見

唯一、人工甘味料だけ気を付けている。入っている製品は買わないようにしている。できれば法律で販売規制してほしい。また、黒糖等の代替品を使用してほしい。食育は多様であるべき（ヴィーガン、グルテンフリー、マイクロビオティックなど）で自治体が計画することではない。より良い税金の使い方をしてほしい。市人口増加、経済支援補助、水道料金減額、議員削減、市税減額。
販売店、店の方々によく知って頂き、安全なものをお店においてほしいです。
特にありません。安心安全に注意しています。
食は生きるためにとても大切です。安全な食に少しずつ関心を持っていきたいです。
視覚障害2級のため家族の者に安全なものを選んでもらい料理し食している。
子供達の魚を食べる量が少ないと思う。十代にカルシウムをしっかり取れたらいいと思います。
新鮮で安価な魚類をもっと多く食べたいです。
バランスのいい食事を手軽にしたい。野菜を安く食べたい。
今日魚明日は肉と交代で食を心がけてかたよりをなるべく避けています。特に年齢になり大根おろしとこうなごをかかさず。くだものは今はブルーベリー、いちじくと季節で毎食楽しみに食事をする予定です。
食品包装材等について、トレイ、梱包材、プラスチックのびん等についているシール類を楽にはがせるようにしてほしい。ラベル等がついていると分別の時はがすのに苦労する。大メーカーの品が特に苦労。
食品包装でプラ以外でできないか。
品物の量が人数にあった包装を色々作ってください。
冷たい飲食物をさげ、あたたかい食事、そして間食をやめて甘いものを控えるようにしていきたいです。健康一番、好きな言葉です。
運動して筋肉を維持していないと何を食べても「食育」にはつながらないと思います。
健康は人にとって大切な財産であります。その健康を維持するための食育は必須の教育課程と位置づけていいと思います。投資を教科書に取り入れたように。もう実施されていますか。市民の健康管理をどうぞよろしくお願い致します。
食には気を付けています。
野菜、果物他、もっと安くなってほしいです。
生野菜高いので、冷凍野菜でも栄養は同じでしょうか。
安い食品を買入する。
このアンケートに『食育』という言葉を知っていますか？という設問をなぜ入れなかったのかと思う。
アンケート、質問が簡素化すぎて（具体的でない）何をこのアンケート、質問で聞き取りたいのか何をどうしたいかが意図がわからない。もっと具体的なアンケート、質問にしてください。この手の質問なら時間のむだです。
実家でも結婚後の両親との同居生活でも食卓の料理は手作り中心だったので特に食育ということは意識したことがありませんでした。この機会に食育は子どもの頃からの生活環境も大切なのではと感じ、あらためて両親に対して感謝の気持ちを抱きました。
食品が有名になると消えていく、殆の食品は消えている。ワタリガニ、車エビ、シャコ、アナゴ、カレイ、アカエイ、あさり、カキ、イシガレイ、ニギス、ニシ、アイナメ、ボラ、ハゼ、ウナギ、セイゴ、クロダイ、キンボウ、ギンボウ。
子どもも、偏食でいろんな食べ物をたべません。牛乳は毎日たくさんのみます。
食料自給率の低下、格差拡大による収入減、エンゲル係数上昇。農産物価格の低迷による農家の減少等、食育も広い視点をもって進めてほしい。
「食育」と聞くと小さい子どもを持つ人の話で、自分にはあまり関係がないのかなと思っています。蒲郡の郷土料理・伝統料理、よく知らないです。（ニギス団子汁くらい）知りたいと思います。